

## 6. 安心して暮らし続けられる居住環境の向上

### (1) 居住環境の維持・向上

#### ①子育てしやすい地区づくりの推進

##### 【現状と課題】

λ 本地区は市中心部に近いうえ、鉄道駅や路線バス、市内幹線道路などの交通基盤、日常的な買い物や病院などの生活利便施設が整っており、市内でも有数の恵まれた居住環境を有していることから、子育て家庭を中心に多くの世帯が転入し、地区内の子ども数も増加しています。

λ 子どもは、将来の地区及び四日市市を担う非常に重要な宝であることから、学童保育のニーズへの対応や子ども会活動の活性化など、地域で子育て家庭を見守り、支えるといった雰囲気づくりなどが望まれます。

##### 【今後の方向性】

地区市民一人ひとりが 取り組むこと	○ 地区市民一人ひとりが地区に愛着を持ち、自宅周辺の清掃などそれぞれができる居住環境の向上に努めます。
地域組織・各種団体が 取り組むこと	○ 地区の子育て環境を高めるため、現在地区内に2つある学童保育のニーズに応じて、施設の改善・拡張や運営スタッフの支援などを検討・実施します。 ○ 地区内の多くの子どもが地域組織や各種イベント・祭りとの関わり合いを持てるよう、子ども会活動の支援を行うとともに、必要に応じて再編やしくみの見直しを行います。 ○ 地区内に住む子どもから高齢者、障がい者までが、気軽にふれあうことができる世代間交流の機会を提供します。
行政・関係機関に 働きかけること	○ 市の子育て支援や教育に関連する部局などと連携し、学童保育所の環境改善など子育てしやすい地域づくりに向けた取り組み支援を働きかけます。 ○ 人口増加に応じた学校施設などの教育環境の整備について、関係機関との話し合いの場づくりを働きかけます。



海蔵小学校内にある第1学童保育所



海蔵保育園児と高齢者との交流会

②いつまでも暮らし続けたいくなる助け合いのしくみづくり

【現状と課題】

λ 本地区においても、高齢化が進んでおり、現在「福祉の家」を拠点として生きがいづくりの取り組みが進められています。今後、地域福祉の活動をより一層強化して、だれもが住み続けやすいまちづくりを推進することが求められます。

【今後の方向性】

<p>地区市民一人ひとりが取り組むこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 隣近所のつながりを大切にし、気軽に声かけや見守りを行います。</li> <li>○ 高齢になっても家の外に出て、健康づくりや生きがいづくりに取り組みます。</li> </ul>
<p>地域組織・各種団体が取り組むこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海蔵地区社会福祉協議会や海蔵地区民生児童委員協議会等の活動を通じて、高齢者や障がい者の生きがいづくりや健康づくりを積極的に展開するとともに、戸別訪問などを行うなど見守り活動を継続して行います。</li> <li>○ 高齢者の居場所づくりと生きがいづくりのため、各地区の集会所を活用したサークル・グループの活動を支援するとともに、喫茶や食事の提供を行うミニデイサービスの実施を検討します。</li> <li>○ 運営委員会による企画・運営が行われている「福祉の家」については、回覧板やセンターだよりを通じて地区全体に活動をPRするとともに、活動の範囲を広げること検討します。</li> <li>○ 高齢者や障がい者の日常生活や災害時に地域としてできる支援を検討します。</li> <li>○ 講演会などを通じてお互いに人権を尊重する意識を高めます。</li> </ul>
<p>行政・関係機関に働きかけること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市の地域福祉の担当部局などと連携し、ふれあい・支えあいの地域づくりへの取り組み支援を働きかけます。</li> </ul>



高齢者交流施設の「福祉の家」



人権を考える集い（海蔵小学校体育館にて）

**(2) 安全・安心なまちづくりに向けた取り組み****①地域の防災力の向上****【現状と課題】**

- λ 今後、地区市民が長く住み続けることができるよう、一人ひとりが安全・安心につながる活動を担っている海蔵地区防災会のさらなる能力向上が望まれます。また、災害発生時に避難所となる学校などとの日頃からの連携が求められます。
- λ 本地区は、住宅等建物の密度が高いことから、火事による延焼や地震発生時の一時避難所不足などが懸念されます。そのため、必要に応じた防災広場や消防水利の確保などの取り組みを検討することが課題となっています。

**【今後の方向性】**

地区市民一人ひとりが取り組むこと	○ 一人ひとりが防災に対する意識を持続させ、家族での申し合わせや非常持ち出し袋の準備などを行います。
地域組織・各種団体が取り組むこと	○ あんしん防災ネットへの登録など地区市民への防災意識の啓発を行います。 ○ 本地区における防災活動の中核を担っている海蔵地区防災会を中心に、防災まち歩きなどを通して地区版の防災プランの策定を検討するとともに、小中学校や消防分団などと連携して避難所開設などの防災訓練に取り組みます。
行政・関係機関に働きかけること	○ 東日本大震災の教訓を受け、地震や津波、風水害など市の地域防災計画の改訂を働きかけます。

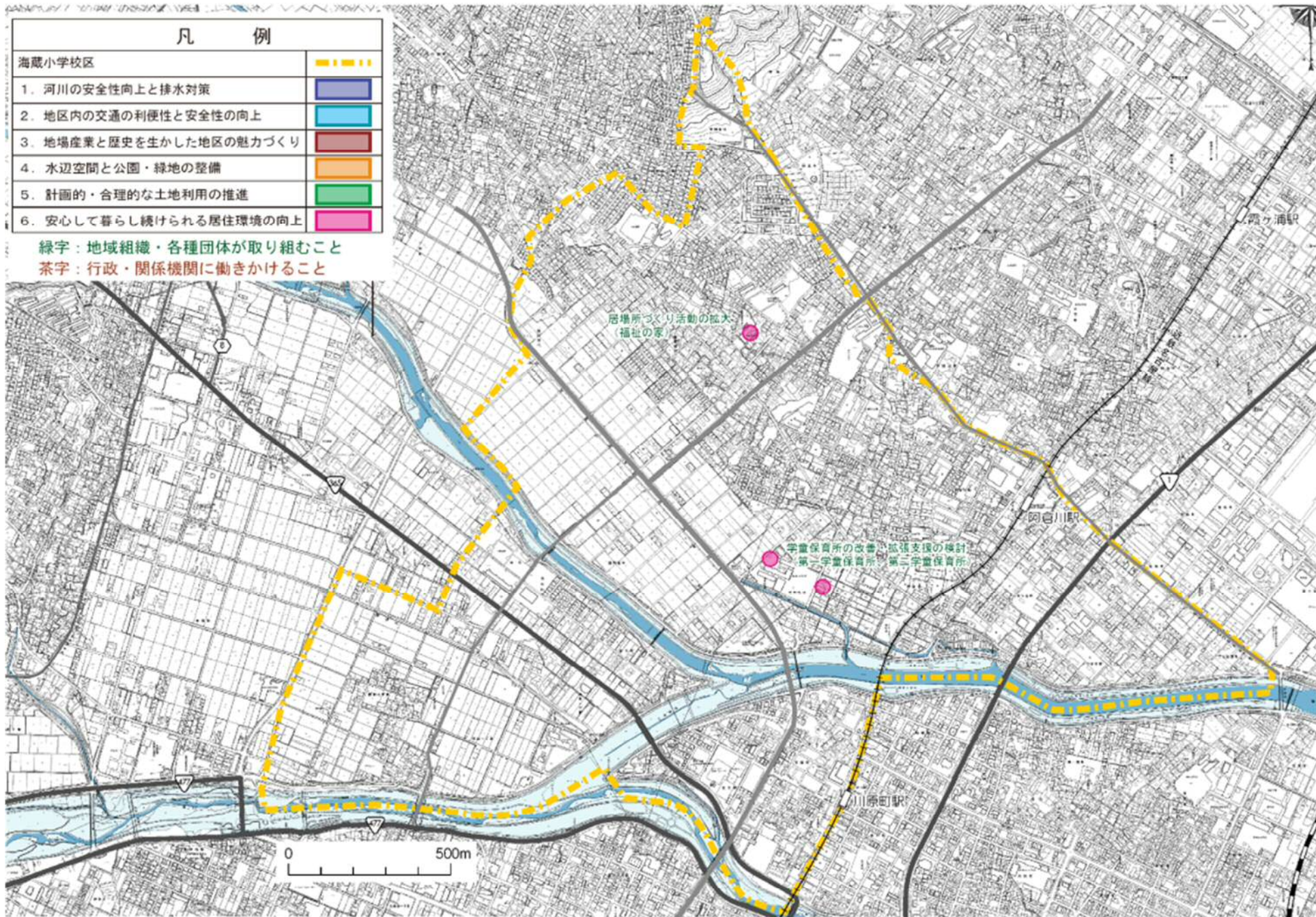
**②地域の防犯力の向上****【現状と課題】**

- λ 地区の防犯力を高めるため、現在も比較的整備が進んでいる外灯・防犯灯や防犯パトロール活動をより一層高い水準に引き上げることが望まれます。

**【今後の方向性】**

地区市民一人ひとりが取り組むこと	○ 一人ひとりが防犯意識を高め、ひったくりや空き巣など身近にせまる犯罪を未然に防止する取り組みを行います。
地域組織・各種団体が取り組むこと	○ 海蔵セフティネット協議会を中心に、夜回りの実施などを展開し、地区における防犯力の向上を図ります。 ○ 地区における犯罪を未然に抑制するため、防犯灯の設置を進めるとともに、設置の際にはLEDを採用することで電気使用量の低減を促します。





凡 例

海蔵小学校区	黄色点線
1. 河川の安全性向上と排水対策	紫色
2. 地区内の交通の利便性と安全性の向上	水色
3. 地場産業と歴史を生かした地区の魅力づくり	茶色
4. 水辺空間と公園・緑地の整備	オレンジ
5. 計画的・合理的な土地利用の推進	緑色
6. 安心して暮らし続けられる居住環境の向上	ピンク

緑字：地域組織・各種団体が取り組むこと

茶字：行政・関係機関に働きかけること

居場所づくり活動の拡大  
福祉の家

学童保育所の改善・拡張支援の検討  
第一学童保育所 第二学童保育所

0 500m